

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2008-149156(P2008-149156A)

【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2008-6294(P2008-6294)

【国際特許分類】

A 61 F 13/15 (2006.01)

A 61 F 13/511 (2006.01)

A 61 F 5/44 (2006.01)

【F I】

A 61 F 13/18 3 1 0 A

A 61 F 5/44 H

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月21日(2008.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原反から繰り出された不織布に熱風を与えて加熱処理し嵩を回復させる工程と、
嵩を回復させた前記不織布と裏面シートとの間に吸収層を配置する工程とを有すること
を特徴とする吸収性物品の製造方法。

【請求項2】

前記不織布層は、熱可塑性纖維で形成されたエアースルー不織布である請求項1記載の
吸収性物品の製造方法。

【請求項3】

前記加熱処理により、前記不織布の密度を1/3以下に回復させる請求項1または2記載の
吸収性物品の製造方法。

【請求項4】

前記加熱処理の工程では、前記不織布が加熱室内に供給され、加熱室内で前記不織布に
熱風が与えられる請求項1ないし3のいずれかに記載の吸収性物品の製造方法。

【請求項5】

前記吸収層を配置する工程の前段に、原反から繰り出された前記吸収層に熱を与えて前
記吸収層の嵩を回復させる工程を有する請求項1ないし4のいずれかに記載の吸収性物品
の製造方法。

【請求項6】

前記吸収層に熱を与えた後に、前記吸収層を冷却する工程を有する請求項5記載の吸
収性物品の製造方法。

【請求項7】

前記吸収層は、パルプで形成されたエアレイド不織布である請求項5または6記載の吸
収性物品の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明は、原反から繰り出された不織布に熱風を与えて加熱処理し嵩を回復させる工程と、

嵩を回復させた前記不織布と裏面シートとの間に吸収層を配置する工程とを有することを特徴とするものである。